

「全身麻酔後の麻酔関連合併症（PONV、嘔声、シバリング、術後痛）の発生頻度の推移に関する後ろ向き研究」へのご協力をお願い

2014年5月19日から2018年9月26日までに当院で全身麻酔を受けられた患者さまを対象として「全身麻酔後の麻酔関連合併症（PONV、嘔声、シバリング、術後痛）の発生頻度の推移に関する後ろ向き研究」をさせていただきたいと思っております。本研究は琉球大学の「人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」の承認を得て行います。

〈研究の目的〉

全身麻酔後の主な合併症としてPONV（Post Operative Nausea Vomitting：術後の吐き気、嘔吐）、嘔声（声のかすれ）、シバリング（寒さによるふるえ）、術後痛があります。これらを減らすために私たちは様々な工夫をしていますが完全になくすことはできておりません。そこで私たちは2014年からこれら4項目の発生頻度を週1回のカンファレンスの際に医局員全員で共有することにしました。これにより各自の合併症予防への意識が高まり、発生頻度の減少に繋がることを期待しています。今回の研究の目的は、この新たな取り組みによりこれら合併症の発生頻度を減らす効果があるかどうかを検討することです。これらを調べることでこの取り組みが合併症を減らす効果があるかどうかを考える上での貴重な資料となることが期待されます。

〈研究の方法〉

2014年5月14日から2018年9月26日までに当院で全身麻酔をお受けになられた患者さまを対象とします。手術後のPONV、嘔声、シバリング、術後痛の有無を調べ、それらの発生率に変化があったかどうかを検討します。

〈研究期間〉

2019年3月31日まで

〈個人情報の保護〉

今回の研究では、合併症の有無以外の個人情報は麻酔台帳から記録することはありません。また麻酔台帳から抽出した情報は、パスワードでロックされた媒体に保存します。そして本研究終了後、すべての情報は破棄します。なお、対象となる患者さんは研究期間である2019年3月31日までの間いつでも参加を辞退することができます。その際は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

〈お問い合わせ〉

研究責任者：野口 信弘（琉球大学医学部附属病院手術部（麻酔科）助教）

電話：098-895-3331（内線）4956 FAX：098-895-1482

E-mail：nnoguchi@med.u-ryukyu.ac.jp